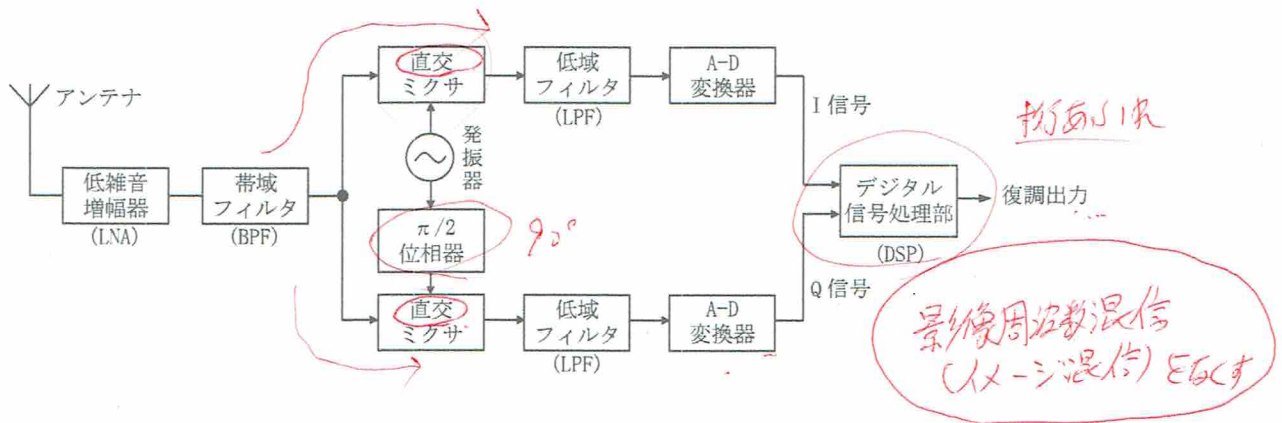


A - 14 次の記述は、図に示す原理的なSDR(Software Defined Radio : ソフトウェア無線)受信機の、動作概要等について述べたものである。このうち誤っているものを下の番号から選べ。



- 1 受信された電波はLNAで増幅されBPFを通り、2個の直交ミキサによりI/Q(In phase/Quadrature phase)信号に変換後、A-D変換器で数値データに変換され、DSP(Digital Signal Processor)ではその数値データが演算され目的の信号となる。
- 2 受信周波数が高いときは、直交ミキサの前段にヘテロダイン変換を設け、周波数を変換することがある。
- 3 受信信号が強すぎるとA-D変換器でオーバーフローが発生し、デジタル信号への正常な変換ができなくなる場合がある。
- 4 ダイレクトコンバージョン(ゼロIF)方式のSDR受信機は、原理的に映像周波数妨害が発生しやすい。 X